

玉名の旧石器時代と 縄文のムラ

【お問い合わせ】
玉名市教育委員会
文化課文化財係

TEL:0968-75-1136
bunka@city.tamana.lg.jp

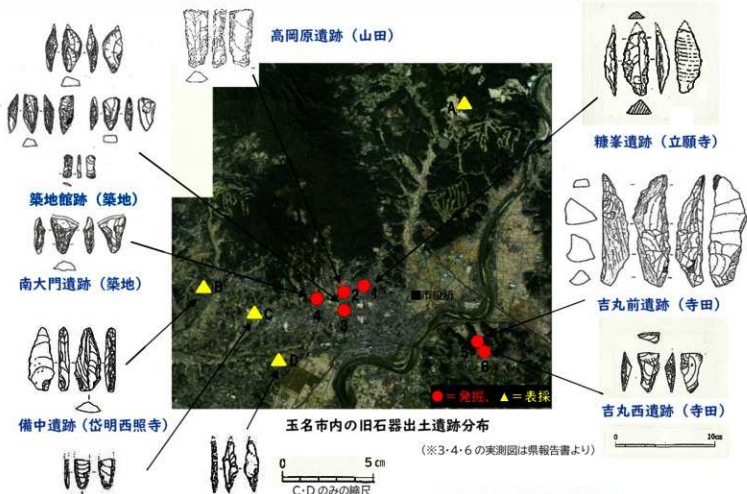


旧石器と出土した寺田の台地

日本列島に人類が住み始めたのはいつか、様々な議論がありますが、約4万年前までさかのぼるのは確実とされています。では玉名には、いつ頃から人が住み始めたのでしょうか？現在のところ、旧石器時代の明確な遺跡は発見されていませんが、これまで表面採集されたナイフ形石器や大規模発掘調査によって出土している旧石器時代の石器が数点あります。動物などを追って狩猟をしたり、石材が入手できる場所で、石器作りをしていたと考えられます。

■旧石器時代

～玉名びとの誕生と、狩人たちの痕跡～



玉名市内の旧石器出土遺跡

遺跡名	出土地	石器種類	調査
1 糖峯遺跡	山田	三稜尖頭器(安山岩質)	市調査区出土(共同住宅建設)
2 高岡原遺跡	山田	尖頭器(黒曜石)	市調査区出土(店舗建設)
3 築地館跡	築地	ナイフ・台形・細石刃(黒曜石)	県調査区出土(バイパス建設)
4 南大門遺跡	築地	台形石器(黒曜石)	市調査区出土(南大門再建地)
5 吉丸前遺跡	寺田	三稜尖頭器(安山岩質)	市調査区出土(バイパス建設)
6 吉丸西遺跡	寺田	台形石器(黒曜石)	県調査区出土(バイパス建設)
A 備中遺跡	備中	石器(黒曜石)	昭和50年 畑から中学生発掘
B 備中遺跡	岱明町西照寺	ナイフ型石器(黒曜石)	昭和30年 畑畑から中学生発掘
C 今泉遺跡	岱明町庄山	ナイフ型石器(黒曜石)	表面採集
D 年の神遺跡	岱明町野口	ナイフ型石器(黒曜石)	表面採集



玉名で出土している石器は、ナイフ形石器、尖頭器、細石器などで、佐賀県の腰岳産の黒曜石で作られたとみられる石器もあります。

■縄文時代のはじまり

～稲作開始まで約1万年も続いた縄文時代～



押型土器（塚原遺跡）

土器の誕生。玉名で最も古い土器は？

旧石器が出土している築地・山田地域周辺や岱明町からは、縄文時代早期（約8000年前）の土器が出土しています。押型土器とよばれ、底が尖る鉢形をしています。その後、貝塚も増えていき、前期になると曾畑式土器が天水町の尾田貝塚で出土し、中期になると阿高式土器が保田木貝塚、桃田貝塚などで出土しています。少しずつ人口も増え、定住がはじまっていったと考えられます。



縄文人の生活

■縄文のムラの生活と祈り

～玉名にもあった石棒と土偶～

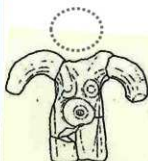


石棒（吉丸前遺跡）



集石遺構（吉丸前遺跡）

※他に炉跡も出土しています。



土偶（上小田宮の前遺跡）

※原報告書より

土偶は、九州では熊本が一番多く出土しています。熊本の土偶は、目や口など顔の表現がない丸い頭が付くものが多いようです。玉名では上小田で出土しています。



約30軒の竪穴建物跡が3グループに分かれています。



吉丸西遺跡の竪穴建物跡

吉丸西遺跡からは、縄文時代後期から晩期にかけての集落跡が確認されており、ここで定住が行われていたことを物語っています。

吉丸西遺跡の縄文ムラ
※原報告書より



▼高岡原遺跡

市内の6遺跡から同様の埋設土器（埋甕）が出土しています。深鉢の底部を欠いて円形の土坑に埋められたものが多く、用途は謎ですが、乳幼児の遺体や胎盤を納め再生や成長を祈る意味があったとも考えられています。